

ノートテイク利用者インタビュー 2019
(文学部4年生 男子学生)

Q.1 高校と大学の授業の大きな違いは？

A.1 大学ではただ教科書の反復という授業は少なく、常に応用的な内容であることが多いです。

Q.2 中大への進学を選んだ理由は？

A.2 私は大学に入ってからの中途障害なので、障害に起因しません。

Q.3 中大ノートテイクを知ったきっかけは？

A.3 確か文学部事務室からの紹介だったと思います。

Q.4 入学前のノートテイクに対するイメージは？

A.4 Q2と同様の理由によりなし。

Q.5 実際にノートテイクのある授業を受けてみた感想は？

A.5 どの方もとても真面目で丁寧にノートをとってくれるので非常に助かります。

Q.6 ノートテイクのある場合とない場合の授業の理解度はどのくらい違う？

A.6 授業後の復習、期末試験の勉強など効果的に勉強できます。

Q.7 ノートテイクのある授業を受けて、大変だと感じたことや苦労したことは？

A.7 特にないです。

Q.8 ノートテイクのある授業を受けて、良かったと感じたことや、嬉しかったことは？

A.8 元々障害前から自分でノートをまとめることは得意ではなかったので、綺麗なノートでの勉強はとてもスムーズに進みました。

Q.9 中大ノートテイク(テイカー)の特徴や魅力、良いことは？

A.9 どの方も質の高いノートテイクをして頂けます。

Q.10 ノートテイクを通じて講義保障以外に得たことは？

A.10 私は普段から人と会話することが少ないので、貴重な対話機会です。

Q.11 中大受験を考えている聴覚障害をはじめとする、ノートテイクを必要とする受験生に向けてひとことお願いします。

A.11 皆さん新しい環境に不安もあると思いますが、中大ではノートテイクや先生による

課題の代替措置などによって学習に支障は生じないと思います。なので後は障害に関係なく、自分がどうするのか、どうしたいのかです。他ならぬ自分自身のために頑張ってください。

Q.12 テイカーさんにひとこと。

皆さんのノートがあったから無事単位を取ることができています。本当にありがとうございます。順調にいけば今年が卒業なので、最後までよろしくお願いします。